

令和 7 年 10 月 20 日

会 員 各 位

鹿児島県経営者協会
会長 岩元 義弘

＜ 11 月 例 会 の ご 案 内 ＞

拝啓 秋涼の候、皆様方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、本会の運営にあたりましては、平素から格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

霧島市隼人町にある鹿児島県工業技術センターは、県工業試験場を前身として設立され、開所して今年で 38 年目を迎えます。企業ニーズに基づく技術支援と研究開発の両輪でこれまでに様々な実績を残しています。

政府は、「地方創生 2.0」と銘打って、新たな施策で地方の人口減少問題や地域経済活性化に取り組むとされていますが、モノづくりはその原点であると思われます。地域資源を活用したシラスの製品開発や焼酎関連の技術支援などユニークな成功事例もあり、地元企業の「稼ぐ力」を技術で支える試験研究機関としての工業技術センターの役割は大きいものがあります。

地元企業として今後どのように連携していけばいいのか、これまでの具体的な実例・実績と共に地元企業への提言、センターの今後の展望などを伺います。

皆様方にはご多忙のところ恐縮ではございますが、多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。代理出席も可能でございます。

敬具

記

- 1) 日 時 令和 7 年 11 月 21 日（金） 12 時 30 分～14 時 30 分（昼食準備）
- 2) 場 所 鹿児島サンロイヤルホテル / エトワール（1 階）（TEL 099-253-2020）
- 3) テーマ 「地方創生のためのものづくり支援 ～工技センターの役割～」（仮）
- 4) 講 師 鹿児島県工業技術センター 所長 安藤 浩 毅 氏

鹿児島県経営者協会（ご回答は、Fax [099-225-0402](tel:099-225-0402) またはメール keikyopc@po.minc.ne.jp にてお願いいたします。）（7-11-21）



「 11 月 例 会 」 出 欠 通 知

* 出席します

* 欠席します

会社名 _____ 役職名 _____ ご氏名 _____

（ネームカードを準備しますので、出席者が変更になった場合は、事務局までご連絡下さい。）

鹿児島市名山町 1-3-82 TEL 099-222-3489 FAX 099-225-0402